

平成26年2月18日 第3回被災地の図書館と震災資料の 収集・公開に係る情報交換会 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

国立国会図書館における 東日本大震災アーカイブ事業について

国立国会図書館電子情報部電子情報流通課

長崎 理総

国立国会図書館と大学図書館との連絡会 東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ中間まとめ

国立国会図書館と大学図書館との連絡会

国立国会図書館と国公私立大学図書館協力委員会が設置

東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ

筑波大学附属図書館、東北大学附属図書館、宮城大学総合情報センター、東北学院大学図書館が参加

ひなざく NDL東日本大震災アーカイブ

本日のご報告事項

- ・国立国会図書館と大学図書館との連絡会 東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ中間まとめ
- 2. 東日本大震災に関する書類・写真・動画の整理・保存講習会
- 3. 震災アーカイブに関する研究会・東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム
- 4. 県立図書館等主催による各種研修会

国立国会図書館と大学図書館との連絡会 東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ中間まとめ

設置目的

東日本大震災における大学図書館の被災・復旧経験を全国の大学図書館等で広く共有し、後世に伝えるため、関係する記録の保存を進めるとともに、その利活用を促進する。

参加機関·対象

- 筑波大学附属図書館、東北大学附属図書館、宮城大学総合情報センター、東北学院大学図書館が参加
- 被災・復旧経験を持つ全ての大学及び大学図書館、公共図書館に対し、被災・復旧経験の記録と共有に向けて呼びかけ

立国会図書館と大学図書館との連絡会 日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ中間まとめ 国東

ープ中間まとめ

・グル

国立国会図書館と大学図書館との連絡会 東日本大震災被災図書館記録ワーキング

• ① 文書・写真等の一次資料の保存状況の把握と保存の働き掛け

•② 記録集等の編纂物の作成・公開状況の把握

①及び②で把握した情報の集約・公開

<u>ල</u>

• ④ 被災・復旧経験の共有方法・手段(ガイドライン・マニュアル等

の必要性、オーラルヒストリーの可能性等)

活動の右心

- 資料、施設の被災と復旧の経験は、図書館界の共有の財産になりうる。
- ・被災が研究・教育組織の中でどのような影響を与え、復旧についてどのような位置づけであったかの記録は、今後の大学図書館のあり方に **しいて考えていく材料となりうる。**
 - 資料・記録を収集・保存・提供する組織が、自らに関する記録をいかに 残していくのか、一つのモデルケースを提示しうる。

国東

- 一次資料(写真・動画、手書きメモ、壁新聞・貼り紙)
- ・行動記録・振り返り(行動メモ・対応記録、オーラルヒストリー)
 - 事務文書一般/会議資料(労務、財務、施設・・・)
- イベント関係(ポスター、立体物)
- 発表資料(冊子)
- ・ウェブサイト
- 構内工事関連の図面、工程表
- 外部委託業者の記録(警備の業務日報等)

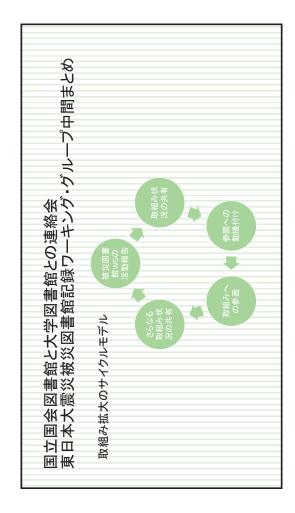
立国会図書館と大学図書館との連絡会 日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ中間まとめ

国立国会図書館と大学図書館との連絡会 東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ中間まとめ

事例の共有、課題の検討にあたっての方針

- 構成員の所属する各組織において、記録の収集、保存に着手、または継続・拡大を図る。可能なものについては、順次公開を図る。
- 最終的には、全ての「図書館」、「大学」に関し、被災・復旧経験について、 社会全体で共有すべきという提言につながることを目標として活動を行う。

- 筑波大学
- 東北大学
- 宮城大学
- 東北学院大学



東日本大震災に関する書類・写真・動画の整理・保存講習会

田忠

東日本大震災に関する記録の整理・保存方法について、アーカイブの 専門家を招いてノウハウを伝える。

開催に至る経緯

・ボランティア団体等の役割の重要性が高まっているにもかかわらず、記録にかかるコストに多くの資源を割ける団体は少ない状況であり、それらの団体が作成し保有する資料を整理する仕組みを整備し、情報を記録するためのノウハウを共有することが、次の災害への備えになる(2013年3月に開催した「東日本大震災アーカイブ公開記念シンポジウムー東日本大震災の記録をのこす意思、つたえる努力」における国際協力NGOセンター(JANIC)の指摘)。

まだ取組みを開始していない大学・大学図書館に対し、様々な取組みの形がありうることを知らせ、それぞれが可能な形で取組みに着手できるよう促す。

・さらに多くの事例を集め、様々な取組みが行われていることについて、 共有を進めていく。

各大学の様々な取組みの形態や段階を示す

今後の課題

国立国会図書館と大学図書館との連絡会 東日本大震災被災図書館記録ワーキング・グループ中間まとめ

東日本大震災に関する書類・写真・動画の整理・保存講習会

日時・場所:平成25年12月13日(金) 国立国会図書館

カリキュラム

	講師	立教大学共生社会研究センター学術調査員 平野 泉氏	特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター 代表理事 工藤 安代氏
	公公	アーカイブの意義や社会的役割等、アーカイブの概論	紙文書、デジタル文書、写真・映像に分けて、アーカイブの具体的な方法やポイントを紹介を紹介
ソンナコンケ	タイトル	「私たちの活動」を 記録しよう! ーアーキビストから のご提案	活動の記録を残す ために一今できるこ とは?—

写真・動画の整理・保存講習会 る書類: 関ず、 日本大震災口 黑

本講習会の配布資料、映像の国立国会図書館東日本大震災アーカイブ (ひなぎく)への掲載



各種ボランティア団体等におけるアーカイブ活動促進への活用



図書館等のアーカイブ機関の活動の参考にしてもらう

今後の課題

- 記録を整理し、保存するための具体的かつ技術的な方法に関する内容
- 被災地域にある各種ボランティア団体等に参加いただくための被災地域で の開催

国立国会図書館電子情報部 主任司書 松本 保

NDLの東日本大震災記録保

国立国会図書館東日本大震 災記録保存事業について

存事業、NDL東日本大震災 アーカイブ(ひなぎく)の報告

CEISMICカンタベリー地震デ ジタルアーカイブ事務局長 ポール・ミラー氏

講習会の継続的な開催

震災関係アーカイブの運営者による報告、関係機関との意見交換により、震災アーカイブの運営に関する課題の共有とその解決に貧する。 CEISMICカンタベリー地震デ ジタルアーカイブの経緯、理 念、現状、今後の展望等の 国立国会図書館 震災アーカイブに関する研究会 日時・場所:平成26年1月9日(木) なぜ大災害をアーカイブする のか? 自然災害に関するデジ タル記録の保存及び無料公 開の重要性について カリキュラム

日本大震災アーカイブ国際シンポジウム 岷

- パネルディスカッションを通じた、復興事業における東日本大震災に 関する記録・教訓の活用や、アーカイブ活動と復興事業との協力関 国内外のアーカイブ機関の事例報告や、復興事業関係者を交えた 係の在り方の検討。
- そういった内容を広く周知することにより、復興活動における記録等の利活用と、その利活用を通じた収集・保存活動の拡大に資する。

東北大学 日時・場所:平成26年1月11日(土) 国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所 との共催により、東北大学で開催

4	盂	ハーバード大学歴史学教授アンドルー・ゴードン氏	CEISMICカンタベリー地震デジタルアーカイブ事務局長 ポール・ミラー氏	国立国会図書館電子情報部主任司書 松本 保
東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム キュラム	松	ハーバード大学エドウィン・0・ ラインャワー日本研究所が運営する2011年東日本大震災デジタルアーカイブの紹介	CEISMICカンタベリー地震デジ タルアーカイブの経緯、理念、 現状、今後の展望等の紹介	NDLの東日本大震災記録保 存事業、NDL東日本大震災 アーカイブ(ひなぎく)につい て報告
東日本大震災アーカカリキュラム	タイトル	参加型デジタル・アーカイブ現状と課題	なぜ大災害をアーカイブするのか。自然災害に関するデジタル記録の保存及び無料公開の重要性について	国立国会図書館東日本大震災記録保存事業について

中越防災安全推進機構復興 デザインセンター長 稲垣 文 彦氏 東北大学災害科学国際研究 所准教授 柴山 明寬氏 農林中金総合研究所代表取 締役専務 岡山 信夫氏 東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム 東日本大震災に関する農林 漁業協同組合の情報をまと めたデジタルアーカイブを紹 介 持続的な住民主体の地域づくりを支える「中越メモリアル 回廊」の取組を紹介 多賀城市での取組を中心に みちのく震録伝の最近の取 組を紹介 農業漁業協同組合の復興への 取組記録 自治体における震災アーカイブ とは 中越メモリアル回廊の取組 カリキュラム

主催による各種研修会 県立図書館等

以下の研修会において、県内市町村立図書館等に対し、震災関連資料の収集、東日本大震災アーカイブの事業説明、利用ガイダンス等を実施

- 宮城県公立図書館連絡会議 岩手県図書館協会·岩手県教育委員会主催 ·平成25年5月17日 ·平成25年7月11日
 - 「図書館等中堅職員研修」 福島県公共図書館協会·福島県立図書館 主催「福島県図書館研究集会」 ·平成25年10月18日

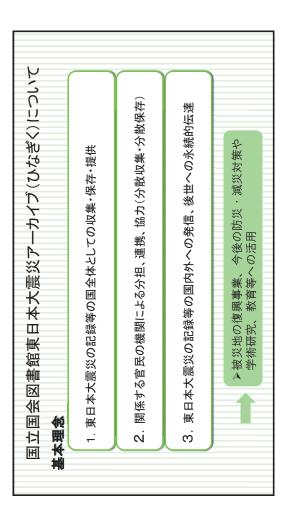
東北大学大学院情報科学研究科講師 坂田 邦子氏 宮城県図書館資料奉仕部震 災文庫整備チーム主事 田中亮氏 日本大震災アーカイブ国際シンポジウム の連絡体である「宮城県東日本大震災アーカイブス連絡会 議」を紹介 宮城県図書館の取組及び宮城県図書館が中心となり構築 が進められている大震災デジ タルアーカイブを紹介 宮城県内の大震災の記録収 集・保存に取り組む各種機関 宮城県東日本大震災アーカイ ブス連絡会議の取組み 宮城県図書館「東日本大震災 文庫 Jの取組 黑 カリキュラム

各講師を中心としたパネルディスカッション「未来をつくる地域の記憶」を実施

書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)について M 섻 Ħ 国立

伝え、被災地の復旧・復興事業、今後の防災・減災対策に役立てられるように、公的機関、民間団体、報道機関等に 東日本大震災に関するあらゆる記録・教訓を次の世代へ よる記録・報告書や大学、学会、研究機関による学術研 究の成果などを一元的に検索できるポータルサイト。

青森県図書館連絡協議会研修会 (予定) •平成26年2月28日



22機関・団体(国立国会図書館含む)の運営する27データベースと連携

供機関·団体数

20機関·団体

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)について

検索対象·全体(平成26年1月末現在)

· 約250万件





国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)について 本女・コンナンツのネット公開 ネット公開 (一部を除く) 原子力災害に関する各種情報・データを発信してい、 ネット公開 るアーカイブ (一部を除く) 女性関連施設等による復興支援を通じた地域コミュ ネット公開 ニティ再生実践の記録を収集・保存するアーカイブ (一部を際く) にあるでは、 格職限内自治体の広観誌等の行政文書や企業、病 ネット公開 際、市民団体等が保有する観災関連資料を収集。 (一部を除く) 保存するアーカイン 青森県の行政文書や地元事業者及び個人からの 提供画像等の震災関連資料を保存するアーカイブ 陸前高田市及び大槌町の震災に関する記録を収集・保存するアーカイブ (本) (本) 約1万2千 約1万1千 約1万8千 檢索対象 連携機関-四体③ あおもりデジタルアー カイブ・コンソーシアム 東日本大震災アーカイブ福島協議会 凸版印刷株式会社 国立女性教育会館 赤十字原子力災害情報セン 日本赤十字社 ターデンタルアーカイブ データペース・サーバス名 総供機関等 あおもりデジタルアーカイブシ ステム 陸前高田震災アーカイブ NAVI NWEC災害復興支援女性 アーカイブ 東日本大震災アーカイブ Fukushima

١.
2い0コ(>柔)
_
_
()
1.
17
_
\sim
~
310.
+111
110
4
10
- 7
\sim
2
-
T
_
_
+
1.
_
'
7
V-1
**
V-1
順
HHILL
- Interior
長日本大震
- 1
- 1.5
レ

- 1 \
Iп/
ТШТ
書館東日ス
100
€ ⊞1
1,1
- IIII
1 1
X
~//
巛
< III
717
1141
H
11.11
1-1
- 17
Tell
H

検索対象 国立国会図書館のデータベース

データペース・サービス名	禁	被	#	本文・コンテンツのネット公司
国立国会図書館蔵書	国立国会図書館	約10万	当館所蔵資料目録	
国立国会図書館雑誌記事索引	国立国会図書館	約25万	当館作成雑誌記事・論文データベース	
カレントアウェアネス・ボータル	国立国余区書館	0065\$	図書館関連ニュース、助向紹介	ネット公開
国立国会図書館デジタル化資料	国立国会区書館	約12万	当館所蔵資料をデジタル化したもの	ネット公配 (一部を際く)
国立国会図書館インターネット資料	国立国会図書館	約1万	当館収集ウェブサイト	ネット公開 (一部を際く)

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)について 館内限定公開 ネット公開 ネット公開 ネット公開 ネット公開 ネット公開 ネット公開 ネット公開 ネット公開 2011年3月12日に福島県いわき市から宮城 県石巻市にかけての沿岸部(一部を除く)を 撮影した写真 福島県新地町図書館及び周辺の東日本大震災被災時の写真を収録しています。一部の写真については、同じ場所の復旧後(平成24年9月8日)の写真も収録しています。 NPO団体等の活動紹介番組動画 同センターによる活動紹介動画 同委員会がネット中継した動画 寄贈・提供資料 ・日本建設新聞社 (東日本激災復興新聞) ・NHK放送文化研究所 ・日本自動車連盟(JAF)等 同社がネットで公開した動画 同団体による活動紹介動画 活動成果作品等の画像 122 455 344 390 2 150 28 20 国会東京電力福島原子力発電 所事故調査委員会 検索対象 収集・保存コントンツ ジュピターテレコム(J:COM) ジャパン・ブラットフォーム 国際協力NGOセンター (JANIC) 福島県新地町図書館 朝日航洋株式会社 東京製本俱楽部 東京電力 国際協力NGOセンター(JANIC) 被災地航空写真(斜め写真) ジュピターテレコム (J.COM) ジャパン・プラットフォーム 福島県新地町被災写真 国会事故調查委員会 東京製本俱楽部 東京電力 その他

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)について 4,697 618, 628 247, 205 204, 307 202, 580 145, 615 196, 187 183, 400 *数値はページだュー (単位:年) 6, 753 6,329 6, 591 146, 023 247, 880 174, 171 156, 492 5, 216 8, 240 5, 618 24, 745 8, 263 平均(日) 月総数 利用状況

※せんだいメディアテーク「3がつ11にちをわすれないためにセンター」とは、 検索結果にリンクする形での連携を実施。

